

■背景、目的

人口減少・少子高齢化の中で適切な国土管理を推進するため、令和3年6月に策定した「国土の管理構想」に基づき、市町村や地域において、土地の現状把握と将来予測をもとに、管理の優先度や管理方法等を検討し、土地の管理の在り方を示す「市町村管理構想」「地域管理構想」の策定を推進する。

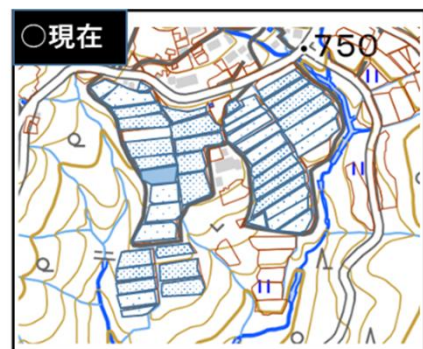
■調査内容

●市町村管理構想、地域管理構想のモデルとなる先進事例を形成するとともに、得られた知見を整理して人材育成を行う。さらに、事例形成や研修等の成果や課題等を整理し全国展開に向けた方策検討を行う。

- ① 基礎情報※1を収集・分析・整理し、市町村職員や地域住民等によるワークショップ等を開催し、管理構想の検討を実施(2年程度での策定を想定) ※1 人口・年齢、地域資源、農地・森林・宅地の分布・管理状況、災害リスク等
- ② 市町村や地域で管理構想づくりを進められる人材育成研修を実施
- ③ 事例形成や研修等で得られた成果や課題等を整理し、更なる展開に向けた方策を検討

■地域管理構想の作業・成果イメージ

現況図及び将来予想図の作成



<耕作者の年齢>

- 85歳未満
- 85歳未満 (後継者あり)
- 85歳以上
- 85歳以上 (後継者あり)



地域管理構想図の作成 (国土管理の取組の優先度の明確化)

